

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
戸塚	1	戸塚区の特徴を踏まえた子育て世代包括支援センターの機能確立について	1 妊娠届出者に対する面接体制の強化 2 「とつかの子育て応援ルーム とことこ」の機能拡充 3 妊娠・出産・子育てをサポートするアプリの提供	こども青少年局	○
戸塚	2	結核服薬支援等及びHIV検査の安定的な運営について	1 各区の必要に応じた支援体制の確立 2 薬局支援制度の拡充 3 医療通訳の年間契約	健康福祉局	○
戸塚	3	被保護世帯等の高校生世代を対象とした進路選択等に関する支援	高校に行っていない子どもを含めた高校生世代に対する、進学や就職に関する情報提供及び体験機会などの提供	健康福祉局	○
戸塚	4	誰もが利用しやすい公衆トイレに向けた改修について	東戸塚駅西口公衆トイレの改修に向けた設計及び工事	資源循環局	-
戸塚	5	他地区への展開が可能な地域活動好事例のPR強化	地域活動の好事例を共有することができるウェブサイトの構築	市民局	○
戸塚	6	自宅を起点とする「ファーストワンマイル」対策を通じた外出支援策の充実	高齢者等向けの外出支援策の充実について、関連部署の連携に基づく検討	政策局	○
戸塚	6	自宅を起点とする「ファーストワンマイル」対策を通じた外出支援策の充実		都市整備局	○
戸塚	6	自宅を起点とする「ファーストワンマイル」対策を通じた外出支援策の充実		道路局	○
戸塚	7	横浜新道上矢部IC下り出口の整備	上矢部IC下り出口の早期整備に向けた検討	道路局	○
戸塚	8	県道瀬谷柏尾の都市計画決定へに向けた調整	1 県道瀬谷柏尾の都市計画決定の早期実現化 2 歩行者等の安全対策としての無電柱化の推進	道路局	-
戸塚	9	秋葉町・柏尾町周辺をはじめとした工業集積地域の土地利用の誘導について	1 立地する事業所の事業継続、立地環境向上を目的とした更なる検討 2 街づくり協議指針の運用状況の確認とそれに伴う見直し 3 土地利用誘導の仕組みの強化	経済局	○
戸塚	9	秋葉町・柏尾町周辺をはじめとした工業集積地域の土地利用の誘導について		都市整備局	○
戸塚	10	都市計画道路の整備促進	都市計画道路の整備促進と環状3号線の早期完成	道路局	○
戸塚	11	東戸塚駅の混雑緩和について	1 安全対策や混雑緩和に向けた施策の検討・調査 2 ホームドアの早期設置に向けた鉄道事業者への要望	都市整備局	-
戸塚	12	不動坂交差点の改良事業の促進	「横浜市内主要渋滞ポイント」に位置づけられている不動坂交差点の早期改良工事の着手	道路局	○
戸塚	13	戸塚駅東口のリニューアル	戸塚区周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプランに基づいた駅周辺の利便性や魅力を高める取組の推進	道路局	○
戸塚	14	地域・学校と連携したタイワンリス対策について	リスの行動圏や生態、巣の位置等を把握に向けた毎木調査・樹木調査(白旗山公園)の実施やGPS発信機の購入等	環境創造局	○
戸塚	15	平戸川改修およびバスベイ設置について	水路の暗渠化も考慮に入れた水路改修工事の早期実施	道路局	○
戸塚	15	平戸川改修およびバスベイ設置について		環境創造局	○

平成31年度予算編成に向けた「区提案反映制度」項目・対応状況一覧

区名	番号	項目	提案内容の概要	所管局名	対応 ※一部対応含む
戸塚	16	開発事業における防犯灯設置の義務化等による明るく安全、安心な街づくりの推進	1 開発事業者の責任において必ず防犯灯が設置される制度の構築 2 LED防犯灯の寄附制度や寄附受納の基準の見直し 3 LED防犯灯整備事業の拡充	市民局	○

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	こども青少年局
------	---------

戸塚区		こども家庭支援課	
担当者名	木村、三橋	TEL	866-8470
共通区			

継続年数	新規	添付資料
------	----	------

番号	提案種別	項目	
1	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	戸塚区の特性を踏まえた子育て世代包括支援センターの機能確立について	
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>		
地域のニーズと 解決策	<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>戸塚区の平成29年度出生数は2151名（人口ポータルサイト）で市内4位であり、子育て世代が多い区です。市内の児童虐待対応件数は区役所分には減少があったものの市全体で増加傾向が続いて（H25:4,592件→H29:6,796件）おり、戸塚区でも台帳登録数は区内で5番目、特定妊婦においては2番目に多くなっています。また、平成25年度の横浜市次世代育成に関するアンケート調査によると、戸塚区の未就学児の保護者で初めての子どもが生まれる前に赤ちゃんの世話をした経験がない人は76%、出産後に子育てについて不安を感じたり自信が持てなくなる人は74%おり、不安を抱えたまま出産を迎える人がとても多い現状があります。また、妊娠中や出産後に重要だと思ふサポートについて、赤ちゃんの育児相談が61.7%、母親の健康面の相談が37%となっており、相談体制の整備が求められていることが伺えます。</p> <p>国の調査によると児童の心中以外による虐待死の約6割は0歳児であり、特に0歳0か月児が約4割を占めており、妊娠中から産前産後の支援が極めて重要です。また、女性の産後うつは約10人に1人ともいわれており、良好な母子の愛着形成を促進する上で重要なこの時期に、妊産婦の個別支援を充実する必要があります。</p> <p>戸塚区は、区最大の交通結節点である戸塚駅に区庁舎を擁し、庁舎内に独自の子育て応援ルーム「とことこ」（以下「とことこ」とする）を開設しているほか、現在、戸塚駅周辺に地域子育て支援拠点サテライトの整備を進めています。これらの子育て資産を複合的に活用することで、妊娠期から出産期の支援をこれまで以上に充実させていく必要があります。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望 ■ 8 その他（子育て支援団体からの提案）</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレママ、プレパパとの接点を増やすことが重要 ・便利な位置にある区庁舎の子育て機能を充実させてほしい ・近所の付き合いがなく孤立しているので相談できる人が必要 ・子育てアプリを作成してほしい <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度戸塚区運営方針では「誰もが安心して健やかに暮らせるまちづくり」として「子育て支援の充実」を掲げています。 ・こども家庭支援課内の体制の見直しにより、母子手帳交付事務は説明から面接まで一貫して看護職が対応することで、届出者が打ち解けやすい状況をつくり相談しやすくしています。 ・土曜開庁時にも看護職アルバイト等により妊娠届出者に対する面接を実施することで、妊娠の届出を行ったすべての妊婦に対し面接相談を実施しています。 ・地域子育て支援拠点サテライトを庁舎のある戸塚駅周辺に整備すべく調整を進めています。 ・区庁舎に子育てに関する情報提供及び一時託児を実施する「とことこ」を設置し、利用者一人一人にきめ細やかに対応し、必要な情報を確実に届けています。 <p>◇課題解決のための方策</p> <p>1 妊娠届出者に対する面接体制の強化（母子保健コーディネーターの配置） これまでは妊娠届出時にすべての妊産婦に面接を実施し、ハイリスクの妊婦のみ継続支援を行っていましたが、母子保健コーディネーター配置後は、妊娠から出産にかけて利用できるサービスや相談窓口等を記載した「妊娠・出産・子育てマイカレンダー」を全員に配付するとともに、必要な方に電話や訪問等の継続支援を行い、個別のニーズに応じて専門機関につなぐなど、切れ目のない支援を行います。</p> <p>2 「とつこの子育て応援ルーム とことこ」の機能拡充 区庁舎にて子育てに関する情報提供及び一時託児を実施している「とつこの子育て応援ルーム とことこ」について、戸塚駅周辺に新たに整備予定の「地域子育て支援拠点とつこの芽サテライト」との連携強化を図るとともに、妊産婦とその家族がより利用しやすいようハード面での改良及び託児体制の充実強化を図ります。</p> <p>3 妊娠・出産・子育てをサポートするアプリの提供 妊娠届出書提出後も区からの情報を受けやすくするとともに、区役所との接触を避けがちな妊婦にも情報発信を図ります。また年齢にあわせた情報提供を行うことで切れ目のない子育て支援を行います。</p>		
	提案内容・概算額等	<p>子育て世代包括支援センター設置費【16,160千円】 （内訳）母子保健コーディネーター3名の配置（4,100千円×3名=12,300千円） 0歳児対応のための託児スタッフの配置（1,680千円×2名=3,360千円） 妊産婦とその家族が相談しやすいハード面の整備（500千円） 子育て支援拠点における妊産婦支援の強化費【1,000千円】 （内訳）子育てアプリの作成及び運用</p>	
	参考：区執行体制上の課題	区の執行体制の調整を要す	
	局事業名	子育て世代包括支援センター事業（母子保健型）、地域子育て支援拠点事業	
	所管局課・担当者	こども家庭課 谷川係長	

◆局回答内容

こども青少年局		子育て支援課 こども家庭課	
担当者名	成田 安部	TEL	671-2705 671-2452

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	1 妊娠期から出産直後の支援は全市共通の課題であるため、モデル区の選定にあたっては、他区の状況も踏まえて総合的に検討します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	2 「とつかの子育て応援ルーム とことこ」は、区役所及び環境創造局南部農政事務所の窓口利用者向けの事業であるため、子育て世代包括支援センター事業もしくは地域子育て支援拠点事業として検討することは困難です。	
	3 子育てアプリの作成・運用にあたっては、区の特性や課題を踏まえ、まずは、区づくり推進費における強化事業として実施することが適当と考えるため検討することは困難です。	
	◇対応する場合の課題	
	2 来庁者向けの事業である「とつかの子育て応援ルーム とことこ」を、地域子育て支援拠点事業として位置づける旨の整理。	
	3 現行の地域子育て支援事業で行っている情報発信に係る検証と、区の特性や課題を踏まえたアプリの具体的活用方法についての検討。	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

Header information table including office name (健康福祉局), ward (戸塚区), and fiscal year details.

Main proposal form table with columns for item number, category, and content. Includes detailed text for tuberculosis and HIV support, and a budget table at the bottom.

局回答内容

Response header table with office name (健康福祉局) and contact information.

Response content table with columns for '対応の有無' (Response status), '対応する' (Response), and '予算対応する' (Budget response).

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	健康福祉局
------	-------

戸塚区		生活支援課	
担当者名	市川	TEL	866-8431
共通区	鶴見区 西区 南区 緑区 泉区 瀬谷区		

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
3	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	被保護世帯等の高校生世代を対象とした進路選択等に関する支援
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと 解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	<p>国のデータ(*)によると高校卒業後に大学や専門学校等の高等教育機関に進学したものは80.6%と過去最高の進学率となっているが、当区の被保護世帯では44.7%である。また、非正規の職に就いたものは国平均が0.7%であるのに対して当区の被保護世帯では10.5%、進学も就職もしていないものは国平均が4.7%であるのに対して当区の被保護世帯では15.7%となっている。</p> <p>さらに、高校中退率については、国平均が1.6%であるのに対して当区の被保護世帯では5.7%となっている。</p> <p>(*) 文部科学省「平成29年度学校基本調査」による数値</p>	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業後の将来のことについて具体的なイメージが持てない。 ・アルバイトのほう楽しくなってしまう、高校に行くのが嫌になってしまった。 ・高校に馴染めず、なんとなく通えなくなってしまった。 	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<p>平成29年度より寄り添い型学習支援事業に高校中退防止支援として中学生の支援と同じ時間帯と場所で高校生を対象とした学習と居場所の提供を開始。利用登録生徒は平成30年度4月現在18名で、全て全日制高校に通う生徒。</p>		
◇課題解決のための方策		
<p>被保護世帯の高校生世代に対して、進路選択を行うに当たっての十分な情報提供や支援を行い、将来の見通しを持ち高校卒業後の自立につなげる。支援内容は、就職への動機付け、お金に関する教育、アルバイトの相談、就労相談、就職試験対策、人と話すことの練習、居場所の提供、教育支援、学校や生活に関する個別相談支援、等。</p>		
提案内容 ・ 概算額等	事業費 1,200千円 (委託)	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	生活困窮者自立支援制度	
所管局課・担当者	健康福祉局生活支援課 吉澤	

◆局回答内容

健康福祉局		生活支援課	
担当者名	吉澤	TEL	671-4078

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>高校生への支援については、事業費を計上し、次年度より事業をモデル7区で実施します。実施内容や積算根拠などについては、モデル区と今後調整を行います。</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	資源循環局
------	-------

戸塚区		区政推進課	
担当者名	松丸、萩原	TEL	866-8327
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
4	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	誰もが利用しやすい公衆トイレに向けた改修について
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	戸塚区内には、戸塚駅に2カ所、東戸塚駅に2カ所公衆トイレがあります。戸塚駅西口の公衆トイレについては、西口再開発に合わせて整備されているためバリアフリー対応になっていますが、それ以外の公衆トイレについては、和式トイレが多く、個室内に段差があります。また、標識の整備も不足しており、視覚障害者用誘導ブロックの敷設、ベビーベッド等も設置されておりません。戸塚駅の1日の平均乗降客数は、JR線222,810人、市営地下鉄89,463人と市内では横浜駅に次いで多く、また、東戸塚駅も116,800人と多くの人が利用しており、高齢者、障害者だけでなく、多様な利用者のニーズに対応した整備が求められています。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input checked="" type="checkbox"/> 8 その他（戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けたまち歩き点検）	
	◇区民からの具体的な要望	
	<ul style="list-style-type: none"> ・個室トイレが和式のみで使いづらい。 ・トイレ内に段差がある。 ・ベビーベッドがない。 ・視覚障害者用誘導ブロックがない。 	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けた横浜市バリアフリー戸塚区部会の開催 		
◇課題解決のための方策		
<ul style="list-style-type: none"> ・和式トイレの洋式化 ・ベビーベッド、ベビーチェアの設置 ・トイレ内の段差解消 ・洗面所への手すり設置 ・バリアフリー対応整備がある旨の表示 ・公衆トイレの案内及び障害者用誘導ブロックの敷設 		
提案内容・概算額等	福祉のまちづく条例の基準を満たした公衆トイレへ全面改修 東戸塚駅西口公衆トイレの改修に向けた設計及び工事 ████████（洋式トイレ化だけではなく空間の再配置） ※なお、東戸塚駅東口、戸塚駅東口についても、32年度以降、順次改修に向けた設計及び工事	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	資源循環局 街の美化推進課 畑係長、三枝、田中	

◆局回答内容

資源循環局		街の美化推進課	
担当者名	畑、三枝	TEL	671-2555

対応の有無	対応しない	予算化見送り
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	公衆トイレの改修については、限りある財源を東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた競技会場・観光地周辺の改修に充てている状況です。公衆トイレのバリアフリーに関する課題は認識しておりますので、洋便器化については、戸塚区内のほかのトイレも含め、順次対応していきます。	
対応する場合の課題	◇対応する場合の課題	
	公衆トイレ整備については優先順位を定め、整備か所を決めています。現時点では、オリパラ競技会場周辺の整備の優先順位が最も高いと考えており、限られた財源の中での平成31年度の事業化は困難です。	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	市民局
------	-----

戸塚区		区政推進課	
担当者名	林	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目	
5	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	他地区への展開が可能な地域活動好事例のPR強化	
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>		
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等 地域活動の好事例は数多くありますが、地域福祉保健やまちづくりなどの分野毎・事業毎の媒体(※)で紹介されることが多いため、分野・事業の枠を越えて好事例にたどり着くことが困難です。そこで、こうした分野毎・事業毎になっている媒体の“ハブ”となるウェブサイトを区局横断で構築し、分野・事業の枠を越えて好事例にたどり着きやすくなるとともに、好事例がデータベースとして蓄積されていくような環境を整えます。 (※つながりのまちづくりフォーラム、animato、まち普請事業整備事例集、福祉保健活動事例集、調査季報、市民生活白書など)		
	◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 ■ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()		
	◇区民からの具体的な要望 地域では、高齢化や担い手不足が深刻になる中で、問題意識を持ち新たな活動を始めたり、従来の活動をより良いものにと取り組んでいます。しかし、具体的な活動のイメージを持たずに、手探り状態となっている地域が多いのが現状です。ゼロから活動を検討することは非常にエネルギーを要するため、地域からは他地区で行われている活動の好事例をもっと分かりやすく紹介してほしいとの要望が多く寄せられています。		
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 戸塚区でも地域福祉保健活動の好事例をまとめた事例集を作成するなど他地区の好事例を地域で共有できるよう環境を整えています。分野・事業の枠を越えた好事例については、職員が自力で収集しておき、地域のニーズに合わせて紹介するなどしているのが現状です。 しかし、情報が区・局、分野・事業の単位で分散しているため、効率的に紹介することが困難となっています。		
	◇課題解決のための方策 1 好事例の“ハブ”となるウェブサイトの構築 分野・事業を越えて好事例にたどり着きやすい環境を整えるため、分野毎・事業毎になっている各媒体の“ハブ”となるウェブサイトを、市民局が中心となり区局横断で構築します。また、新市庁舎に設置が予定されている市民協働・共創スペースにおいても、分野・事業を越えて好事例を紹介できるよう情報が集約される環境を整えます。 2 好事例をデータベースとして蓄積 ウェブサイトの構築にあたっては、データベース的な蓄積を想定して設計します。 3 ウェブサイトへの誘導のルール化 好事例を紹介する各媒体にはサイトへのリンクを共通バナーとして張るなどルールを定め、より効率的に好事例にたどり着くことができるようにします。		
	提案内容・概算額等	ウェブサイトの構築(設計委託費) 〇〇〇〇〇 円 ※紙媒体の事例集の作成については、データベースとして蓄積されてきた時点で検討することとします。	
	参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
	局事業名		
	所管局課・担当者	市民局地域活動推進課	

◆局回答内容

市民局		地域活動推進課 市民活動支援課	
担当者名	鈴木 西島	TEL	671-3624 227-7965

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容 各区局で集約している市全体の地域活動の事例を共有し、必要な情報を検索し提供を行う仕組みづくりは必要と考えます。 新市庁舎に設置予定されている市民協働・共創スペースでは、コーディネーターや助言を行うために、先進事例や取組の情報収集や発信、研究を行うことが重要と考えており、今後仕組みについて検討してまいります。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	政策局・都市整備局・道路局
------	---------------

戸塚区		区政推進課	
担当者名	松丸・和田	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
6	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="" type="checkbox"/>
		自宅を起点とする「ファーストワンマイル」対策を通じた外出支援策の充実
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等
		<p>○外出支援策としての「ファーストワンマイル」対策</p> <p>物流業界では配送拠点から個々の消費者宅を結ぶ区間を指して「ラストワンマイル」と呼ぶが、生活者の視点から見ると、自宅からバス停や店舗などにつながるまでの短い道のりを「ファーストワンマイル」と呼ぶことができます。</p> <p>高齢化の進展により、バス停やコンビニまでの坂道などの「ファーストワンマイル」が外出のハードルとなる場合が増加していますが、外出支援策の充実は介護予防の観点から福祉政策の面で重要な課題であり、扶助費の抑制という都市経営上の喫緊の課題となります。</p> <p>○普段づかいの移動サービスの必要性</p> <p>「福祉有償運送」や「ボランティアバス」による既存の各種移動支援サービスについては、担い手の高齢化・後継者不足や車両の確保が課題となっています。</p> <p>また、通院やデイサービスなどに目的や利用条件が制約されない「普段づかい」の移動サービスが事実上タクシーに限られている状況にあります。</p>
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<p>■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 ■ 3 地区担当制 ■ 4 地域懇談会等</p> <p>□ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 □ 7 関係団体からの要望</p> <p>■ 8 その他（横浜市高齢者実態調査(平成29年3月)）</p>
		◇区民からの具体的な要望
		<p>距離が遠い、高低差があることなどにより駅やバス停までの移動が困難で、病院や買物、福祉施設に行くことが難しい。</p>
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		<p>・福祉有償運送の取組を支援（北沢地区連合）</p> <p>・地域交通サポート事業を活用した地域交通の導入に向けたサポート（小雀地区等）</p> <p>・区社協、地域と連携して社会福祉法人の送迎バスを利用した買い物送迎を実施（柏尾富士見台）</p>
		◇課題解決のための方策
		<p>移動支援について「福祉」と「福祉以外」との境は明確ではなく、福祉部門と都市交通部門とが相互に積極的に連携しながら施策のカバー領域を広げることが市民の暮らしの質の向上に寄与する。より効率的で利便性の高いサービスを実現するための方策を、関係区局による組織横断的な体制で引き続き研究・検討していく必要がある。</p> <p>【ファーストワンマイル対策の例】</p> <p>・福祉有償運送の充実やタクシーの利便性向上など、各種外出支援策の維持・拡大に向けた取組</p> <p>・マンパワーやコストの低減に寄与する自動運転車を、上記外出支援に活用</p>
提案内容・概算額等	外出支援策の充実について、関連部署の連携に基づく検討	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名		
所管局課・担当者	政策局政策課 都市整備局都市交通課 道路局企画課	

◆局回答内容

政策局		政策課	
担当者名	荻原・瀬田	TEL	671-4206

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容	
	外出支援策の充実に向けた検討にあたっては、組織横断的に進める必要があるため、所管局のみならず、関連区局も含めた連携強化が重要と考えています。	
	◇局事業名	◇計上(要求)額
		千円
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

都市整備局		都市交通課	
担当者名	福居	TEL	671-4128

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容 外出支援策の充実に向けた検討にあたっては、組織横断的に進める必要があるため、所管局のみならず、関連区局も含めた連携強化が重要と考えています。	
	◇局事業名	◇計上(要求)額
		千円
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

道路局		企画課	
担当者名	勝俣、八尾	TEL	617-3800

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容 外出支援策の充実に向けた検討にあたっては、組織横断的に進める必要があるため、所管局のみならず、関連区局も含めた連携強化が重要と考えています。	
	◇局事業名	◇計上(要求)額
		千円
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課、土木事務所	
担当者名	松丸、和田、大平	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	6年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
7	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	横浜新道上矢部IC下り出口の整備
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策	◇地域の課題、基礎データ等	
	上矢部町周辺は上矢部工業団地など工場や事業所が集積しており、都市計画マスタープラン戸塚区プランにおいても、工業地としての適正な誘導及び操業環境の改善を図るとともに企業立地を進める地区としています。しかし、横浜新道上矢部ICは下り出口が整備されておらず、工業地区のインフラ機能として不十分な状況です。 また、横浜新道を通って上矢部町周辺へ向かうためには手前の川上ICで降りることになり、川上ICから降りた車が住宅地内を通り抜けたり、また、渋滞が課題となっている不動坂交差点を通りさらなる渋滞を招くなど、様々な問題が生じています。	
	◇地域ニーズ等の収集手段	
	<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
	◇区民からの具体的な要望	
	上矢部IC下り出口を早期に整備して欲しいとの要望があります。	
	◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。	
地区懇談会において地域の意見を聞き、回答について調整を行いました。また、24年度に区内の中小企業訪問を実施した際、上矢部町周辺の事業所から上矢部ICについての意見を聴取しました。		
◇課題解決のための方策		
上矢部IC下り出口が早期に整備できるよう、過年度の地域との調整状況及び検討結果を踏まえながら、地域の賛同を得て早期整備が実現できるよう、必要な予算措置を要望するとともに、関係者との協議を進める必要があります。		
提案内容・概算額等	地域との調整状況及び調査結果を踏まえ、早期整備に向けた検討	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	横浜新道改築関連街路事業	
所管局課・担当者	道路局横浜環状道路調整課	

◆局回答内容

道路局		横浜環状道路調整課	
担当者名	麻生・青木	TEL	671-2735

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	調査・設計費等を予算計上しました。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課、土木事務所	
担当者名	松丸、和田、大平	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	6年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
8	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	県道瀬谷柏尾の都市計画決定へ向けた調整
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等
		<p>県道瀬谷柏尾は、交通量の増加による渋滞が慢性化していることに加え大型車両の通過が多く、また、十分な歩行者空間が確保されていない状況にあります。(仮称)上矢部岡津線として、都市計画道路の追加候補路線になっているものの、未だ都市計画決定へ向けた取組は進められていない状況です。</p> <p>当路線の抜本的な改善策として、地元からも要望のある都市計画道路化が必要と考えます。併せて、当面の歩行者等の安全対策として、無電柱化を推進する必要があります。</p>
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望
		<ul style="list-style-type: none"> ・かねてから地区懇談会等の機会において渋滞の解消や安全対策が求められています。 ・平成25年3月に小学生が巻き込まれた死亡事故発生の経緯があり、早急な安全対策が求められています。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
<p>区画線の補修や減速表示などの安全対策を実施しています。</p>		
		◇課題解決のための方策
		<ul style="list-style-type: none"> ・都市計画決定の早期実現化 ・無電柱化の推進
提案内容・概算額等		都市計画決定の早期実現に向けた検討・調整の促進
参考：区執行体制上の課題		現行の体制で対応
局事業名		
所管局課・担当者		道路局企画課 故島・原

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	故島・原	TEL	671-2777

対応の有無	対応しない	その他
対応する場合	◇対応の内容	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	平成20年5月に公表した「都市計画道路網の見直し」において、県道瀬谷柏尾の横浜新道から区境までの区間は追加候補としておりますので、引き続き都市計画について検討を進めていきます。	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	経済局、都市整備局
------	-----------

戸塚区		区政推進課	
担当者名	松丸、和田	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	3年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
9	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	秋葉町・柏尾町周辺をはじめとした工業集積地域の土地利用の誘導について
	制度関連 <input checked="" type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 柏尾川などの河川沿いは、都市機能と調和を図りつつ工業の集積を重点的に推進・保全する工業集積地域として位置付けられています。しかし、近年、工場等の移転などにより住宅系の土地利用への転換が進んでおり、工業集積の維持や周辺環境との調和などが課題となっています。
		◇地域ニーズ等の収集手段 ■ 1 日常の窓口対応等 □ 2 市民からの提案等 □ 3 地区担当制 □ 4 地域懇談会等 □ 5 区民アンケート □ 6 区民要望 ■ 7 関係団体からの要望 □ 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望 住宅系の土地利用への転換による小学校の学区変更の提案に対して、地域からの反対意見が寄せられました。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 ・土地取引前協議部会や土地利用総合調整会議などの機会を捉えて区の意見を伝えています。 ・平成27年度には「秋葉・柏尾周辺地区街づくり協議指針」の策定(平成28年4月)に向けた支援を行いました。
		◇課題解決のための方策 ・秋葉町・柏尾町周辺地区においては、街づくり協議指針に基づき協力要請を確実にやっていく必要があります。 ・企業の実態調査等をおこない土地取引の動きを早期に捉え、関係局で連携して土地利用調整を行っていく必要があります。 ・「平成29年度大規模土地利用転換対応策検討業務委託」の結果等を踏まえて、工業系土地利用の継続に有効的な誘導手法を検討していく必要があります。
		提案内容・概算額等 ・立地する事業所の事業継続、立地環境向上を目的とした更なる検討 ・街づくり協議指針の運用状況の確認とそれに伴う見直し ・土地利用誘導の仕組みの強化
		参考：区執行体制上の課題 局事業名 所管局課・担当者

◆局回答内容

経済局		企業誘致・立地課	
担当者名	大場、間島	TEL	671-3485

対応の有無	対応する	既存の制度で対応する
対応する場合	◇対応の内容 大規模土地取引事前届出制度の運用・立地企業との意見交換等を通じ、情報収集及び土地利用の産業系用途へ誘導を行います。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

◆局回答内容

都市整備局		地域まちづくり課	
担当者名	市川、内藤	TEL	671-2932

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 31年度も引き続き秋葉・柏尾周辺地区街づくり協議指針に基づき、事業者と協議を行います。また、経済局等と連携し、適切な土地利用誘導の手法について検討します。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課、土木事務所	
担当者名	松丸、和田、大平	TEL	866-8326
共通区			

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目
10	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	都市計画道路の整備促進
	制度関連 <input type="checkbox"/>	
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等
		戸塚区では、これまで、国道1号の原宿交差点の立体化、JR線を横過する柏尾戸塚線のアンダーパス整備など渋滞対策として、箇所的な事業を行ってきましたが、都市計画道路網そのものの整備が遅れています。そのため既存の幹線道路の渋滞が深刻な問題となっており、人やモノの移動に支障きたしています。また、住宅地域への通過交通の流入により、交通安全面での課題も生じています。 さらに、国道1号吹上交差点付近では、平成32年度に横浜環状南線の戸塚1Cが完成予定となっており、それらの交通需要に対応したネットワーク整備が必要となります。 ※戸塚区都市計画道路整備率 60.6% (18区中13番目) (全市平均68.5%) (H30.3.31現在)
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()
		◇区民からの具体的な要望
		関係地区の交通渋滞解消等のためにも、早期の整備を行って欲しいとの要望があります。
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。
		広聴事業による地域住民の意見聴取を行いました。
		◇課題解決のための方策
		■都市計画道路の整備促進と環状3号線の早期完成 自動車交通の円滑化や、住宅地域内の歩行者安全確保、バス交通の強化、また、深谷通信所の跡地利用における影響への対応等のため、環状3号線(戸塚地区、南戸塚地区、汲沢地区)及び未整備区間、桜木東戸塚線(平戸地区)、桂町戸塚遠藤線(上倉田戸塚地区)の確実な事業促進を要望します。 とりわけ環状道路として整備している環状3号線は、周辺の幹線道路の交通分散を促し、交通の円滑化を図るために、最も大きな効果が期待できます。さらに、国道16号線と国道1号線が環状3号線によって接続されることから、本市南部地域の連携を強化し、戸塚区のみならず、本市の経済活動や市民生活の利便性の向上に寄与するとともに、災害時の広域的な避難路・緊急輸送路としても効果を発揮します。 このように整備効果の高い環状3号線については、よりスピード感を持った整備と早期完成を要望します。
提案内容・概算額等	測量・設計費・工事費等	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	都市計画道路の整備	
所管局課・担当者	道路局建設課 日置係長、桐ヶ谷係長企画課 故島係長	

◆局回答内容

道路局		建設課企画課	
担当者名	日置、桐ヶ谷(建設) 故島、原(企画)	TEL	671-3556(建設) 671-2777(企画)

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	1. 環状3号線(戸塚地区、南戸塚地区)については、横浜環状南線整備に合わせ、また、同汲沢地区では、ルート変更について地域の理解を得ながら進められるよう、必要となる工事費、設計費、測量費及び用地取得費等を計上します。 2. 桜木東戸塚線(平戸地区)については、非常に厳しい状況ですが、国の重点化事業として認められよう検討していきます。 3. 桂町戸塚遠藤線(上倉田戸塚地区)については、高島橋の架替え工事のうち、下部工の撤去工事等を進められるよう工事費等を計上します。(建設課) 環状3号線は、本市の道路ネットワークの骨格をなす幹線道路であるとともに、跡地利用計画を進める上でも重要な道路であることから、事業中の国道1号に接続する区間の整備状況を踏まえつつ、早期事業化に向けて取り組みます。(企画課)	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	都市整備局	戸塚区		区政推進課		
		担当者名	松丸、和田	TEL	866-8326	
		共通区				
		継続年数	7年以上	添付資料		

番号	提案種別	項目																																																					
11	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	東戸塚駅の混雑緩和について																																																					
	制度関連 <input type="checkbox"/>																																																						
地域のニーズと解決策		<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区民から東戸塚駅の通通勤ラッシュ時の線路転落・転倒危険性について指摘されており、周辺の地区懇談会では、毎年議題となっています。 ・東戸塚駅の周辺は、宅地開発や大規模マンションの建設などのまちづくりが進んでいます。また、バス便により近隣区の住民も東戸塚駅を利用している状況であり、昭和55年に開業して以来、乗車人員が約7.6倍にまで増加しています ・地元の町内会長等が呼びかけ人となり、東戸塚駅の改善を求める署名活動を行いました。(H21) ・JR東日本は、概ね15年程度(平成44年度末頃まで)で、乗降10万人以上(乗車5万人以上)の駅等を中心に東京圏在来線の主要路線全駅にホームドアを整備することとしています。しかしながら、東戸塚駅は平成38年度以降、平成44年度頃までの整備とされており、優先順位が低くなっています。 <table border="1"> <tr> <th colspan="3">●平成28年度 市内駅JR乗車人員(1日平均)</th> <th colspan="3">●JR東戸塚駅乗車人員(1日平均)</th> </tr> <tr> <th>順位</th> <th>駅名</th> <th>人数</th> <th>年度</th> <th>人数</th> <th></th> </tr> <tr> <td>1</td> <td>横浜</td> <td>414,683</td> <td>昭和55</td> <td>7,673</td> <td rowspan="8">約7.6倍 約5万人増</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>戸塚</td> <td>111,405</td> <td>平成 3</td> <td>38,541</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>大船</td> <td>99,139</td> <td>平成 8</td> <td>45,330</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>鶴見</td> <td>80,182</td> <td>平成 13</td> <td>50,198</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>桜木町</td> <td>70,286</td> <td>平成 18</td> <td>55,906</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>新横浜</td> <td>62,409</td> <td>平成 23</td> <td>57,520</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>長津田</td> <td>60,661</td> <td>平成 28</td> <td>58,400</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>東戸塚</td> <td>58,487</td> <td colspan="2">※東戸塚駅はS55.10.1開業</td> </tr> </table>	●平成28年度 市内駅JR乗車人員(1日平均)			●JR東戸塚駅乗車人員(1日平均)			順位	駅名	人数	年度	人数		1	横浜	414,683	昭和55	7,673	約7.6倍 約5万人増	2	戸塚	111,405	平成 3	38,541	3	大船	99,139	平成 8	45,330	4	鶴見	80,182	平成 13	50,198	5	桜木町	70,286	平成 18	55,906	6	新横浜	62,409	平成 23	57,520	7	長津田	60,661	平成 28	58,400	8	東戸塚	58,487	※東戸塚駅はS55.10.1開業	
		●平成28年度 市内駅JR乗車人員(1日平均)			●JR東戸塚駅乗車人員(1日平均)																																																		
順位	駅名	人数	年度	人数																																																			
1	横浜	414,683	昭和55	7,673	約7.6倍 約5万人増																																																		
2	戸塚	111,405	平成 3	38,541																																																			
3	大船	99,139	平成 8	45,330																																																			
4	鶴見	80,182	平成 13	50,198																																																			
5	桜木町	70,286	平成 18	55,906																																																			
6	新横浜	62,409	平成 23	57,520																																																			
7	長津田	60,661	平成 28	58,400																																																			
8	東戸塚	58,487	※東戸塚駅はS55.10.1開業																																																				
		<p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地区懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 () </p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東戸塚駅利用者が年々急増を続け、特に平日朝および夕方の通通勤ラッシュ時には改札口周辺・プラットホームはもとよりエスカレーター・階段に人が溢れ、線路への転落・転倒などの人身事故がいつ起きるか分からない危険性があります。関係者と協議の上、いつときも早く解消策を実行して欲しいとの要望があります。 <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県鉄道輸送力増強促進会議で要望を伝えました (H18～) ・東戸塚駅長に要望を伝えました (H24.6) ・都市整備局に要望を伝えました (H24.8 地域ニーズ三副市長説明) ・東日本旅客鉄道株式会社横浜支社長に要望を伝えました (H26.3、H26.7) <p>◇課題解決のための方策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横須賀線、湘南新宿ラインのダイヤ改正 ・駅改札口の増設 ・湘南新宿ライン(快速)の混雑時の停車 ・東海道本線の停車 ・駅改札口とプラットホームを結ぶ階段の増設 ・神奈川県鉄道輸送力増強促進会議での更なる要望 ・プラットホームの拡幅 ・直近の安全対策の検討 ・混雑時のエスカレーター2列利用の周知(アナウンス等) ・混雑車両の表示やピーク時乗車抑制のための啓発ポスター作成 																																																					
提案内容・概算額等	<ul style="list-style-type: none"> ・安全対策や混雑緩和に向けた施策の検討・調査費 ・ホームドアの早期設置に向けた要望 																																																						
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応																																																						
局事業名	鉄道計画検討調査費																																																						
所管局課・担当者	都市整備局都市交通課 梅田係長																																																						

◆局回答内容

都市整備局		都市交通課	
担当者名	梅田	TEL	671-3541

対応の有無	対応しない
対応する場合	◇対応の内容
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方
	<p>JR東日本は、これまでに混雑対策としてホームにあるベンチの撤去や事務室の縮小、エスカレーターの高速運転など、対応可能なことから順次改善を行っています。今後とも、駅の混雑状況をみながら、JR東日本と連携し、必要となる対策を検討していきます。また、可動式ホーム柵の設置は、神奈川県鉄道輸送力増強促進会議など、あらゆる機会をとらえてJR東日本に対し早期整備を働きかけていきます。</p>
	◇対応する場合の課題

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

戸塚区		区政推進課、土木事務所	
担当者名	松丸、和田、大平	TEL	866-8326
共通区			

所管局名	道路局
------	-----

継続年数	7年以上	添付資料	
------	------	------	--

番号	提案種別	項目	
12	予算関連 <input checked="" type="checkbox"/>	不動産交差点の改良事業の促進	
	制度関連 <input type="checkbox"/>		
地域のニーズと解決策		◇地域の課題、基礎データ等 国道1号は、区の南北を結ぶ道路の中で最も重要な路線として、区民の通学通勤等の移動を支えています。県道瀬谷柏尾線及び国道1号の分岐点(戸塚駅方面・横浜新道方面)である不動産交差点の渋滞が慢性化しており、平成9年度に、交差点改良が事業化され、平成19年度に整備計画の見直し(地下式立体から平面拡幅)が行われました。 不動産交差点は「横浜市内主要渋滞ポイント」に位置づけられており、円滑な道路交通を阻害しているだけでなく、周辺住宅地域内への通過交通の流入等の問題を引き起こしています。	
		◇地域ニーズ等の収集手段 <input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()	
		◇区民からの具体的な要望 不動産交差点の渋滞は、長年の懸案事項として対策が求められ続けています。早期に整備を行って欲しいとの声があります。	
		◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。 広聴事業による地域住民の意見聴取を行いました。	
		◇課題解決のための方策 不動産交差点の早期改良工事着手を要望します。	
		提案内容・概算額等	用地費・工事費等
		参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応
局事業名	都市計画道路の整備		
所管局課・担当者	道路局建設課 木村係長		

◆局回答内容

道路局		建設課	
担当者名	木村	TEL	671-3635

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容 用地取得を進めるとともに交差点改良工事に先行して、歩道工事等に着手します。	
	◇課題に対する局の考え方	
対応しない場合	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調書

所管局名	道路局
------	-----

戸塚区		区政推進課	
担当者名	松丸、弘光、岩本	TEL	866-8327
共通区			

継続年数	5年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
13	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域のニーズと解決策		戸塚駅東口のリニューアル
		◇地域の課題、基礎データ等
		<p>市域南西部最大の交通拠点である戸塚駅では、戸塚駅東口再開発事業（S54～H元）が終了してから30年が経過し、交通渋滞の発生や駅前広場のバス交通機能の逼迫、駅前の一部においてバリアフリー化が未対応であるなど、多くの課題が発生しています。</p> <p>また、駅の直近を柏尾川が流れており、地域資源を活用した魅力あるまちづくりが必要です。（参考）戸塚区人口 S54.10.1：191,715、H元.10.1：237,487、H30.7.1：278,589</p>
		◇地域ニーズ等の収集手段
		<input checked="" type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input checked="" type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input checked="" type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input checked="" type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input type="checkbox"/> 6 区民要望 <input checked="" type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他（戸塚区バリアフリー基本構想策定に向けたまち歩き点検）
		◇区民からの具体的な要望
		<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚駅東口の渋滞を解消してください。 ・東口のバスを西口に移動してください。 ・東戸塚小への通学、戸塚駅への通学・通勤等、地域住民の歩行の安全を確保してください。 ・地下鉄ホームから東口タクシー乗り場まで行くのに、4回エレベーターを乗り継ぐ必要があり改善してください。
◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。		
<ul style="list-style-type: none"> ・戸塚駅東口駅前広場周辺の交通混雑解消について、交通環境改善検討等の取組みを進め、平成23年度には交通社会実験を実施しました。 ・H27から道路局と区が事務局となった関係区局による庁内ワーキングを開催し、検討を進めています。 ・H28には地域代表、事業者、行政等による検討会議を開催し、検討を進めています。 ・H29.2月「戸塚駅周辺のみちづくり」意見募集を実施 ・H29.8月 第2回まちみち検討会を実施 ・H29.11月 まちみち分科会（3連長（上倉田、下倉田、吉田矢部）、明学、江ノ電、行政）の実施 		
◇課題解決のための方策		
<ol style="list-style-type: none"> 1 東口バス路線の再編成（東口から西口移動による混雑回避のため、西口多頻度路線を併せて再編成） 2 暫定交通広場の活用も含めた駅前広場機能の再配置（バス、タクシー、一般車） 3 エレベーターの設置等によるバリアフリー化 4 駅周辺の快適な歩行環境の整備（元吉倉橋再整備を含む） 5 柏尾川プロムナード及び親水空間の整備（サイン設置、河川敷への階段整備 など） 		
提案内容・概算額等	戸塚区周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプランに基づいた設計・整備費 30,000千円	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	住み続けたいまち・みちづくり推進事業	
所管局課・担当者	道路局企画課 石井係長、勝俣係長	

◆局回答内容

道路局		企画課	
担当者名	石井、今村、勝俣、八尾	TEL	671-4086

対応の有無	対応する	予算対応する
対応する場合	◇対応の内容 駅周辺の交通アクセスの改善について予算計上します。戸塚駅周辺地区住み続けたいまち・みちづくりプランに基づく設計・整備について予算計上します。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

所管局名	環境創造局	戸塚区		土木事務所	
		担当者名	岩本、藤井	TEL	881-1621
		共通区			
		継続年数	2年	添付資料	

番号	提案種別	項目
14	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域・学校と連携した台風リスク対策について		<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>近年台風リスクによる公園内の植樹林被害が多数発生しており、このままでは倒木被害など安全な市民生活が脅かされる状況となる懸念があります。戸塚区内の公園でも地元から不安の声があがる状況のなか、戸塚区の高校で台風リスクの研究をしている方がいるとの情報を得たため、地域の方とともに訪問して話を伺ったところ、対策に向けた協力を得られることとなりました。よって今後の解決に向けては、行政と地域、学校の3者が連携して取り組むこととし、それぞれが役割を持って台風リスクの行動圏や生態等を把握したうえで、具体的な対策を進めていきます。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p><input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>・平成29年2月頃、地元の連合町内会長から、28年4月頃から東戸塚駅近郊の「白旗山公園」において、植樹されているケヤキの樹皮がリスにかじられる被害が多数発生しており、今後枯れ木となり倒木の危険があるため、リスを駆除してほしいとの陳情がありました。更に保野別邸庭園など区内のいくつかの公園で同種の被害も発生していることが把握されました。環境創造局からの情報では、市内における被害は旭区や泉区・金沢区にも拡大しているとのことでした。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>平成29年3月に、環境創造局、戸塚区と、東戸塚地区連合町内会長、舞岡高校科学部の3者による、台風リスク対策に関する意見交換会を実施しました。 このなかで、舞岡高校から意見として台風リスクの行動圏や巣の位置をより詳細に把握することができれば、対策を練ることが可能であるとのことであったため、白旗山公園で試験的に捕獲を行うこととしました。このことについて、学校、地域、行政がそれぞれ役割を持って連携して取り組むことで合意しています。 昨年度までに鳥獣保護法の許可を取得、捕獲用はこわなの貸出等を行っています。</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>《対策連絡調整会議の立ち上げと対策の検討》 学校（舞岡高校科学研究会）・地域（連合町内会）・行政（環境創造局、戸塚区）による対策連絡調整会議を立ち上げ、生態分析を進めながら定期的に情報交換や意見交換を行い、被害防止対策の確立に向けて連携して取り組みます。 具体的には、行政が必要な器具類等（GPS発信機、捕獲用はこわな等）を用意したうえで、以前から科学研究会の研究について教示を受けているヤマザキ動物看護大学の教授や学芸員からの協力を得て試験的に捕獲したリスの行動圏や生態、巣の位置等を把握し、対策の方向性を検討します。また、地域では捕獲に関する現地支援などの協力を行います。 その結果として、学校側から報告していただく行動圏の把握や生態分析結果に基づき、環境創造局と戸塚区が協力しながら本市における地域や学校と連携した具体的な取組の先行事例として対策を進め、将来的には金沢区など他区へ取組が広がっていくよう検討していきます。</p>
地域とのニーズと解決策		
提案内容・概算額等		毎木調査、樹木調査（白旗山公園）、GPS発信機購入費等 1,500千円
参考：区執行体制上の課題		現行の体制で対応
局事業名		
所管局課・担当者		環境創造局公園緑地維持課 遠藤係長

◆局回答内容

環境創造局		公園緑地維持課	
担当者名	遠藤 充	TEL	671-3848

対応の有無	対応する	既存の事業で対応する
対応する場合	◇対応の内容	
	公園での調査に関する費用は、配付予算内で対応をお願いします。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

戸塚区		土木事務所	
担当者名	岩本	TEL	881-1621
共通区			

所管局名	道路局、環境創造局
------	-----------

継続年数	2年	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
15	予算関連	<input checked="" type="checkbox"/>
	制度関連	<input type="checkbox"/>
地域ニーズと解決策		<p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>戸塚区平戸町の水路（平戸川）については、2年前に下流側の護岸の一部が崩壊したことから、地域の皆様から現地周辺にある老朽化した護岸を改修して欲しいとのご要望をいただいています。一方で、水路と隣接して並行している国道1号線は、朝夕のラッシュ時にはバス停における利用者の乗降により渋滞がしばしば発生しており、更には歩道が狭いことから、バス乗車待ちの利用者が歩道に滞留した際には歩行者が歩道を通行することができなくなるなどの問題もあるため、バスベいの設置が必要です。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p><input type="checkbox"/> 1 日常の窓口対応等 <input type="checkbox"/> 2 市民からの提案等 <input type="checkbox"/> 3 地区担当制 <input type="checkbox"/> 4 地域懇談会等 <input type="checkbox"/> 5 区民アンケート <input checked="" type="checkbox"/> 6 区民要望 <input type="checkbox"/> 7 関係団体からの要望 <input type="checkbox"/> 8 その他 ()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>・老朽化した水路の改修およびバス停付近のバスベい設置</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>・平成28年度に水路の改修およびバスベいの概略設計を実施しました。（3月）</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>水路と並行している国道1号線は交通量も多く、災害時の緊急輸送通路でもあることから、水路の護岸が大雨等により崩壊した場合の影響は、非常に大きなものと予想されるため、水路の暗渠化も考慮に入れた対策を早急に進める必要があります。 また、国道1号線でもバス乗降による渋滞の発生や、歩道が狭くバス利用者の滞留により歩行者の通行に支障が生じているなどの問題があるため、水路の対策後にバスベいの設置を実施していきます。</p>
提案内容・概算額等	課題解決に向けた水路改修工事の早期実施 ・水路部の改修検討（委託費）	
参考：区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	環境創造局公共下水道事業	
所管局課・担当者	道路局河川部河川管理課 石田係長 環境創造局下水道計画調整部 下水道事業マネジメント課 中島係長 環境創造局下水道管路部管路整備課 清水係長	

◆局回答内容

環境創造局		下水道事業マネジメント課 管路整備課	
担当者名	中島 清水	TEL	671-2840 671-3983

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容 上部活用を考慮した水路の改修について、道路局と連携して検討を進めています。31年度は暗渠化のための実施設計を行います。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

◆局回答内容

道路局		河川管理課	
担当者名	石田	TEL	671-2857

対応の有無	対応する	その他
対応する場合	◇対応の内容	
	上部活用を考慮した水路の改修について、下水道事業と連携して検討を進めています。	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	

平成31年度予算編成に向けた区提案反映制度調査

戸塚区		地域振興課	
担当者名	鈴木 幹	TEL	866-8413
共通区	全区		

所管局名	市民局地域防犯支援課
------	------------

継続年数	新規	添付資料	
------	----	------	--

番号	提案種別	項目
16	予算関連	<input checked="checked" type="checkbox"/>
	制度関連	<input checked="checked" type="checkbox"/>
開発事業における防犯灯設置の義務化等による明るく安全、安心な街づくりの推進		
<p>地域のニーズと解決策</p> <p>◇地域の課題、基礎データ等</p> <p>1 横浜市開発事業の調整等に関する条例において、防犯灯の設置が義務付けられていないことから、開発地(秋葉町:約3ha・宅地約160区画・道路延長約700m)に防犯灯がまったく設置されない真っ暗な「街」ができ上がりつつあり、地元町内会から救済要望が出されています。</p> <p>2 LED防犯灯の寄附制度について、受納の対象を「電柱等に共架するLED防犯灯」に限定していることから、電柱等がない道路への鋼管ポールLED防犯灯の設置が遅れていて、暗い道が長期にわたり改善できない状況です。</p> <p>3 LED防犯灯整備事業において、必要な予算が確保されていないことから、真に必要なLED防犯灯を設置することができず、暗い道が長期にわたり改善できない状況です。</p> <p>◇地域ニーズ等の収集手段</p> <p>■1 日常の窓口対応等 □2 市民からの提案等 ■3 地区担当制 □4 地域懇談会等 □5 区民アンケート □6 区民要望 ■7 関係団体からの要望 □8 その他()</p> <p>◇区民からの具体的な要望</p> <p>横浜市開発事業の調整等に関する条例の一部を改正するなど、再び「防犯灯のない街」が作られることがない制度を構築してほしい。鋼管ポールLED防犯灯も寄附受納の対象にしてほしい。必要な予算を確保し、真に必要なLED防犯灯については早急に設置してほしい。</p> <p>◇これまでの区としての対応 ※区運営方針に位置づけられているものはその旨記載してください。</p> <p>標識設置届の情報を自治会町内会へ提供することで地域と開発業者との事前の協議がスムーズに進むようにサポートしています。</p> <p>◇課題解決のための方策</p> <p>横浜市開発事業の調整等に関する条例の一部を改正するなど、開発事業者の責任において防犯灯を必ず設置させる制度を構築することが肝要です。今後、技術革新など「新しい形の防犯灯」が開発されたり、「無電柱化の推進」により街づくりが変わっていくことが予想されることから、LED防犯灯の設置基準や寄附制度についても見直しを検討していくことが必要です。LED防犯灯整備事業の予算を拡充することで、真に必要なLED防犯灯を設置することができ、明るく安全、安心な街づくりが推進されます。</p>		
提案内容・概算額等	横浜市開発事業の調整等に関する条例の一部を改正するなど、開発事業者の責任において必ず防犯灯が設置される制度の構築。 LED防犯灯の寄附制度や寄附受納の基準の見直し。 LED防犯灯整備事業の予算の拡充。 35,000千円	
参考:区執行体制上の課題	現行の体制で対応	
局事業名	LED防犯灯整備事業ほか	
所管局課・担当者	市民局地域防犯支援課	

◆局回答内容

		市民局		地域防犯支援課	
担当者名	矢吹	TEL	671-3709		

対応の有無	対応する	既存制度の見直しを行う
対応する場合	◇対応の内容	
	<p>○（条例の所管局）建築局宅地審査課：LED防犯灯の設置については、建築局宅地審査部において、平成30年4月より、5戸以上の戸建て住宅・共同住宅を対象に、開発事業者に対し協議・指導を実施しています。</p> <p>開発調整条例の改正による設置の基準化については、防犯灯設置基準を運用している市民局や区役所と協議を進めています。</p> <p>現在の指導の効果を検証するとともに、基準化に向け、審査・検査における市民局と区役所との役割分担など運用方法の調整を踏まえ、規定する内容を引続き検討していきます。</p> <p>なお、秋葉町の開発については、開発事業者に対し協議・指導をした結果、開発事業者が設置することになりました。</p> <p>市民局地域防犯支援課：建築局宅地審査課と同様の考えです。</p> <p>また、上記秋葉町のLED防犯灯については開発事業者が設置することになり、設置箇所について助言をするとともに、現地において地元町内会と設置箇所の現況確認や今後の進め方について調整しました。</p> <p>○LED防犯灯の設置は電柱に共架することを基本としております。その理由として鋼管ポールは設置費用が高額なことやポールの倒壊、民地内に設置した場合の継続使用の担保など維持管理が難しい面があります。今後、寄附相談や地域等のニーズを踏まえて検討していきます。また、鋼管ポール設置の基準については、本市の道路占用許可基準に沿った防犯灯の基準でありますので、設置基準については現行のままと考えます。</p> <p>なお、設置基準を満たし、設置が必要な灯数の予算額確保に引き続き努めます。</p>	
対応しない場合	◇課題に対する局の考え方	
	◇対応する場合の課題	